

## 岡部篤行会長が国際地理学連合2018年「桂冠名誉賞」を受賞

当協会会長の岡部篤行（青山学院大学教授・東京大学名誉教授・SPAC一般財団法人衛星測位利用推進センター理事長）は、国際地理学連合（IGU、International Geographical Union）の本年度大会（2018年8月、カナダ・ケベック）において、桂冠賞（The IGU Lauréat d'Honneur）を受賞しました。

IGUは1922年に設立された地理学に関する国際的な学会で、現在約130国が加盟し、各国の国内委員会が加盟窓口となり、日本では日本学術会議の地球惑星科学委員会内に設けられたIGU分科会が国内委員会の役割を担っています。

桂冠賞は、国際的な地理学や環境分野において格別な貢献や業績をなした者に贈られる賞です。1976年にこの賞が創設されて以降、計44名の地理学研究者が受賞し、岡部会長は日本人で3番目の受賞者になりました。

岡部会長は2010年5月に当協会3代目の会長に就任。2014年4月、当協会が公益財団法人に改組され、その初代会長（代表理事）となりました。

研究者としては、1971年東京大学大学院修了1975年ペンシルバニア大学大学院博士課程修了（Ph.D.）、1977年東京大学大学院博士課程修了（工学博士）。筑波大学助教授、東京大学助教授、同大学院工学系研究科都市工学専攻教授、東京大学空間情報科学研究センター長を経て、現在、青山学院大学地球社会共生学部教授です。専門は、空間解析～とりわけ街路網で展開される都市現象のミクロな時空間分析、空間情報学、ユビキタス都市の社会基盤計画や政策の研究などです。

1998年から2000年まで地理情報システム学会会長を務めました。IGUでは、日本国委員会、数学的モデル研究委員会に参加し、2013年IGU京都国際地理学会議の組織化や日本の地理情報システム学会の組織化にも大きな役割を果たし、アジアの地理情報学会を含む国際的な学術交流を大きく推進しました。また、国際地理情報科学会議、欧州地理情報研究所連合に貢献をしています。



IGU ケベック大会における受賞挨拶（小口高氏撮影）



SPAC と測技協からの花束贈呈  
2018.11.16 SPAC シンポジウム 2018